

平成 30 年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業計画

平成 30 年度は、生活支援体制整備事業が始まり 3 年目になります。この間、地域の福祉団体等の活動情報の把握に努め、支援策を検討してきました。今年度は、その支援策を実行に移し、地域生活に必要なサービスを創出して、支援の仕組みづくりを進めます。

社会的孤立や困窮、ちょっとした困りごとなど制度の狭間にある課題に対しては、住民同士の支えあいを基本とした「身近な地域のつながり・支えあい活動」を広め、共助の層を厚くする活動を推進します。

「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を地区社会福祉協議会(以下、地区社協)と進めます。そのため、地区社協活動の充実に向け人材育成、活動費確保、研修の機会等を提案して、充実強化に向けて引き続き取り組みます。

本会専門機関部会により昨年度、「泉サポートプロジェクト」が立ち上がりました。この活動を支援するとともに、地区社協等とのつなぎ役(コーディネイト)を果たします。

地域の福祉活動を充実するために人材と活動費の確保が求められています。そのため、ボランティアセンターの機能を強化します。また、みんなでつくろう福祉の泉助成金制度を改正し、より効果的な制度として運営します。

災害時に備え災害ボランティアセンターの運営体制の強化や、地域防災拠点との連携強化を引き続き進めます。また、備蓄品や資機材等の整備を行います。

泉区では、医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を地域ケアプラザエリアごとに進めています。今年度も地域ケアプラザ、泉区役所、社会福祉法人等と連携して、泉区の特徴を活かした仕組みづくりを進めます。

一方、国においては「地域共生社会づくり」の方針により、介護保険法を始めとする制度の見直しが予定されています。これらの情報や制度を正しく理解し、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを検討します。

【重点取組項目】

1 生活支援体制整備事業の推進

これまでは、地域活動の把握等に努め、地域支援に取り組んできました。今年度は、その取り組みを活かして、住民が抱える移動や生活支援等の課題に対して、具体的なサービスの創出や地域の支えあいの仕組みづくりを進めます。

2 地区社会福祉協議会の支援

社会福祉法人や企業等の多様な団体とのつながりを広げ、ネットワーク組織の強みを活かして地区社協の支援を進めます。また、昨年度全面改訂した「地区社協のてびき」を積極的に活用・発信するなどして、地区社協活動の充実に向け取り組みます。

3 区内社会福祉法人・施設等との連携・支援

社会福祉法人との連携を進め、法人の組織運営や地域貢献活動を支援します。また、「泉サポートプロジェクト」の活動を支援しながら、ちょっとした困りごとや移動に課題を抱える人たちの支援に取り組めます。

4 ボランティアセンターの機能強化

地域の福祉活動の担い手の発掘や育成を進めるため、各種講座等の内容を充実します。また、団体の情報や登録者名簿を整理、活用して、迅速な相談・調整体制を構築します。

5 地域における権利擁護の推進

高齢者や障がい者が、地域の中で安心して生活が送れるよう、権利を守るとともに個別の生活課題への相談支援を進めます。また、生活困窮者等に対する支援を民生委員や地域の福祉保健団体等との連携により引き続き取り組めます。

6 障がい児・者の社会参加や自立支援・理解促進

障がい児者の移動支援のニーズに応えるため人材の発掘や育成を進めます。また、障がい理解や災害時の支援を進めるため、「セーフティネットプロジェクト横浜出前講座」など障がい者自身が発信する講座を地区社協や地域防災拠点運営委員会等で実施します。

7 子ども・子育て支援

次世代を担う子どもたちの育ちを支援するため、福祉教育やサマースクール（福祉体験学習）等を充実します。また、食支援は、企業等と連携して仕組みづくりを検討します。

8 善意銀行(寄付)や賛助会費等の広報と有効な活用

善意銀行や賛助会費等については、広報紙の見直しやパンフレット等を作成して、区民にわかりやすく伝えます。また、共同募金運動等の内容を充実させ、寄付文化の醸成に取り組めます。

9 災害ボランティアセンターの運営体制強化

設置・運営マニュアルの見直しを進め、災害時に対応可能な体制づくりを進めます。また、泉区役所や地域防災拠点との連携を強化するとともに、備蓄品等の整備を進めます。

10 民生委員・児童委員との連携・推進

民生委員・児童委員が把握した課題は、地域のつながりや支えあいにより解決できるよう連携して取り組めます。また、支え合いマップ等を活用し、つながりの輪を広げます。

11 第3期泉区地域福祉保健計画の推進

各地区で策定した地域福祉保健計画地区別計画を推進します。今年度は計画の中間期にあたるため、振り返りをしながら今後の取組みを整理します。

12 区社協事業や地域福祉活動の理解促進・適正な法人運営

区社協の取組や財源等を積極的に周知します。また、「組織のガバナンス強化」「事業の透明性確保」「財務規律の強化」「人材育成」を進め、区民の期待や信頼に応えます。

■ 事業計画

この事業計画は、第3期泉区地域福祉保健計画を推進するため、計画の推進の柱1(1-1、1-2)、柱2(2-1、2-2)、柱3(3-1、3-2)に連動した形で策定しています。
また、主な事業の予算額を表示(30年度予算額[29年度予算額])しています。

1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

1-1 健康寿命を延ばすための健康づくりを進める

(1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組みを進めます。

【取組事項】

- ①地区社協等が行う高齢者食事会や散策事業等の支援
- ②町内会やシニアクラブ等が実施する健康づくり活動の支援

(2) 認知症に対する正しい理解と見守りの拡充

認知症の正しい理解を広げ、支援する区民を増やします。

【取組事項】

- ①地区社協、地域ケアプラザ等と協力して、認知症を理解するための講座等の実施
- ②泉区認知症キャラバンメイト連絡会への参画と活動支援
- ③企業等への認知症に対する理解啓発活動

1-2 安心して暮らし続けられる環境をつくる

(1) 生活支援体制整備事業

200 千円 [200 千円]

地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、企業など多様な団体との連携を深め、高齢者の生活支援・介護予防の充実のため生活支援の担い手の発掘・育成や新たな活動の創出に取組み、地域包括ケアシステム構築に向け取組みます。

【取組事項】

- ①地域活動に取組む団体等を対象とする研修会の実施
- ②区と協働した区レベル協議体の開催、及びケアプラザ協議体の開催支援
- ③第2層生活支援コーディネーター連絡会の開催、定期的なヒアリング等による「第2層コーディネーターの取組み状況把握」及び総合的支援
- ④専門機関部会が地域貢献活動(移動困難者支援やちょっとした困り事の解決に向けての活動)のために立ち上げた「泉サポートプロジェクト」と連携し、新たな地域資源の創出及び活動の継続支援

(2) 身近な地域のつながり・支えあい推進事業

200 千円 [160 千円]

様々な生活課題を抱えている人に対して、地区社協など地域の福祉保健関係者と連携しながら、身近な地域による支援に結びつけます。また、生活支援体制整備事業による住民等の主体的な活動を支援することにより、身近な地域でのつながり支えあいの地域づくりを推進します。

【取組事項】

- ①区・包括カンファレンス等への参画をもとに、個別・地域課題の継続的な把握
- ②住民支えあいマップ等の研修会の実施

(3)子どもの支援

子どもの健やかな育ちの支援や貧困への対応、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育て支援を応援します。また、子育て支援にかかわる支援者への支援に取組みます。

【取組事項】

①子育てネットワークへの参加

- ア 区域子育てネットワーク・子育てサークルリーダー研修会の事務局として、区役所、子育て拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、研修会の実施
- イ 地域ケアプラザエリア子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検討、支援

②子ども食堂等の居場所づくり支援

J A横浜等の企業と連携して食支援を実施するとともに、仕組みについて検討します。

③区内関係機関との区内の子どもの状況についての情報共有

(4) 権利擁護

673 千円 [530 千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。地域包括支援センターや障害者後見的支援室等との連携を図ります。また、横浜市市民後見人バンク登録者の泉区登録者の支援を行います。

	H27 実績	H28 実績	H29 見込	H30 見込
権利擁護事業契約件数 (件)	35	41	42	50

(5) 送迎サービス (移送サービス・外出支援サービス)

4,973 千円 [5,123 千円]

外出が困難な在宅の高齢者・難病患者に対し、通院、福祉施設、行政等での手続きなどの際に送迎を実施し、外出の機会を提供します。

	H27 実績	H28 実績	H29 見込	H30 見込
送迎サービス事業利用件数 (件)	1,842	1,455	1,230	1,100
登録者数 (人)	321	282	271	260

(6) 移動情報センター事業

9,033 千円 [9,834 千円]

障がい児・者の通学・通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。

	H27 実績	H28 実績	H29 見込	H30 見込
ガイドボランティア登録件数 (件)	5	23	26	40

【取組事項】

①推進会議、事業者連絡会の開催

②ガイドボランティア講座等の開催及びボランティアの確保・養成

- ア ガイドボランティアの相談が多いエリアやガイドボランティアが不足しているエリアを重点に講座等の開催
- イ 地域住民に向けての障がい者への理解を深める活動
- ウ ガイドボランティアへのフォローアップ

③自治会町内会、地区社協、泉区障害者自立支援協議会、関係団体への事業のPR活動

(7) 生活困窮者自立支援施策への対応

3,145 千円 [3,128 千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区役所生活支援課との連携を通して支援に取組みます。

①生活福祉資金貸付事業相談件数

※（ ）は貸付決定件数

	H27 実績	H28 実績	H29 見込	H30 見込
総合支援資金	43 (0)	44 (0)	66 (0)	50
臨時特例つなぎ資金	6 (0)	8 (0)	6 (0)	5
緊急小口	154 (7)	66 (0)	50 (0)	50
福祉資金（教育支援資金等）	1435 (23)	1127 (21)	530 (18)	1030
不動産担保型生活資金	32 (0)	16 (0)	26 (0)	25
その他	65 (-)	42 (-)	30 (-)	45

②食糧支援（フードバンク）

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対して食糧提供を行い、自立に向けた支援を行います。

（８）泉区ふれあい助成金・福祉の泉助成金

15,382千円[12,136千円]

身近な地域の支えあい活動や障害当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉区ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。

	H27 実績	H28 実績	H29 見込	H30 見込
助成団体数（件）	196	204	197	210

2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する

2-1 地域の中でより多くの人との交流を進める

（１）様々な人との交流の推進

250千円[250千円]

【取組事項】

- ①第27回ふれあい“ザ”いずみ 軽スポーツ大会の実施（協働事業：区内の中・高・大学生のボランティア参加）
- ②ジュニアボランティアの活動機会を提供（福祉イベント、共同募金街頭運動など）

（２）サポートが必要な人への理解の推進

209千円 [223千円]

【取組事項】

- ①泉区福祉の作品展を開催し、その周知と障がい者への理解・啓発の推進
- ②ジュニアフレンド（学齢障がい児余暇支援事業）を実施し、社会参加の機会を拡充
- ③障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティネットプロジェクト横浜出前講座を実施

（３）福祉教育

100千円[100千円]

【取組事項】

- ①学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや認知症理解等の福祉教育（啓発）を実施
- ②小・中学生対象「サマースクール2018」（福祉体験学習）の実施

2-2 活動のネットワークと連携を強化する

（１）共通課題の解決に向けた取組の推進

6,560千円 [7,440千円]

①地区社協活動の支援

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めるなか、地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。

【取組事項】

- ア 地区社協分科会の定例開催
- イ 地区社協（区域）研修の開催、地区研修の開催支援
- ウ 地域アセスメント、地区診断の実施
- エ 区社協賛助会費への理解促進
- オ チャリティーコンサート（共催：区社協・12地区社協・区役所）の開催支援
- カ 地区社協活動の広報活動
- キ 地区社協活動運営費の交付
- ク 地区社協てびき研修の実施

②泉区ボランティアネットワークの運営・活動支援

③泉区障害福祉自立支援協議会への参画

障がい者や家族が安心して暮らすことができるよう部会、委員会で課題解決に向けた検討を進めます。また、支援職員のスキルアップを図るため研修会等の開催を支援します。

（２）災害ボランティアセンターの機能強化

80千円[130千円]

災害ボランティア連絡会や関係機関等との協力体制を構築し、災害時に備えた体制づくりを進めます。

【取組事項】

①災害ボランティア連絡会の運営・活動支援

- ア 会員向け災害時シミュレーション訓練(災害ボランティアセンター開設訓練)の実施
- イ コーディネーターの確保、養成

②ブロック別災害ボランティアセンターネットワーク連絡会への参加

③区役所や地域防災拠点との連携強化

④備蓄品や資機材の整備

（３）民生委員児童委員の活動支援

地域の身近な相談役である民生委員児童委員、主任児童委員が抱える個別課題に対して、支えあいマップ研修などを通して活動を支援します。また、民生委員活動への理解を深めるため広報・啓発活動に取り組めます。

（４）その他

障害者地域作業所等通所者の工賃(給料)の増額を目的として、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、会議の茶菓等として製品を利用することで販路を支援します。

3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

3-1 地域活動の担い手を養成する

（１）新たな担い手の育成(ボランティアセンターの運営)

904千円[830千円]

ボランティアや地域住民による活動に関する様々な相談に応じます。また、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別、対象別などのボランティア講座を実施します。

【取組事項】

- ①団塊の世代等に向けたボランティア講座（おとなカレッジ）の開催
- ②ボランティア講座の開催

- ア ボランティア入門講座
- イ ボランティア活動分野別、エリア別講座
- ウ 地区ボランティアセンター（ちょっとしたボランティア活動）支援
- エ ガイドボランティア講座
- オ 障がい理解講座

(2) 担い手と地域活動のコーディネート

区民や企業等からの相談に対して、ボランティア団体や地域ケアプラザ等によるネットワーク機能を活かし、地域の活動へつなげていきます。

【取組事項】

- ①地区社協等の地域活動の担い手育成
- ②登録更新と登録者へのフォローアップ
- ③登録者情報を得意分野や居住地別等の分類別に検索可能に整理
- ④「人財バンク」の情報更新（区民活動支援センターとの協働事業）

(3) 活動継続のための支援

100千円[100千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します

【取組事項】

- ①ボランティアネットワーク運営委員会の開催
- ②ボランティアネットワーク各部会の合同開催
- ③ボランティアの意見交換会や講演会の実施
- ④ボランティアフォーラムの開催

(4) 泉区福祉保健活動拠点の運営

16,109千円 [16,691千円]

夜間、日祝の利用者を増やし、稼働率を高めます。また、拠点窓口を通じボランティアの発掘や育成を行います。〔指定管理期間：H28. 4. 1～H33. 3. 31〕

	H27 実績 (耐震工事の為 一部使用できず)	H28 実績	H29 見込	H30 見込
登録団体件数 (件)	215	222	241	250
利用実績 (延べ件数)	969	2,320	2,300	2,350

【取組事項】

- ①窓口や利用登録団体懇談会などを通じて利用者ニーズの把握を進め、サービス提供及びボランティア間の連携強化の支援
- ②夜間及び日祝の稼働率向上のため、拠点の広報活動の強化
- ③ボランティアセンターと連携した研修会や講座を実施し、人材発掘を推進
- ④第三者評価の受審

(5) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援

82千円[一円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、研修会や各種講座等を地域活動交流コーディネーターと協働で開催します。

3-2 地域の活動に関心を持つ人を増やす

(1) 地域情報や活動に関する情報発信

【取組事項】

- ①区社協だより泉の発行（年3回）
- ②タウンニュース紙の活用（年1回）
- ③ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行（年3回）
- ④「ボランティアセンター通信かわら版」の発行（年3回）
- ⑤「ボランティアセンター通信ジュニア版」の発行
- ⑥区社協ホームページの活用
- ⑦災害ボランティア通信の発行
- ⑧泉区民ふれあいまつりなどでの 防災・災害ボランティア活動に関する啓発活動、災害ボランティアフェスタの開催（共催：災害ボランティア連絡会）

（2）その他の取組

- ①泉区社会福祉大会における福祉活動功労者に対する顕彰
- ②善意銀行（寄付金品の受付、配分）の運営とパンフレット作成による周知活動
- ③介護フェア開催協力（主催：泉区老人福祉施設長研究会）

4 社会福祉協議会活動・法人運営

（1）「第3期 泉区地域福祉保健計画」の推進

- ①区役所との共同事務局による計画の推進・中間振り返り
- ②計画推進にあたっての地域ケアプラザ等関係機関との連携
- ③地域福祉保健推進協議会への参画
- ④地域支援チームへの参画（「地区別計画」推進支援）
- ⑤地区社協の運営・活動支援

（2）公益性の高い社会福祉法人として、適切な組織運営

- ①理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会の開催
- ②各種部会・分科会の開催
- ③各種委員会の開催
ア ボランティアセンター運営委員会 イ 広報編集委員会 ウ 助成金配分審査委員会
- ④計画的で透明性の高い業務執行、法律や規定に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤会員及び賛助会員の募集と賛助会費の有効活用
- ⑥BCP（災害時の業務継続計画）の適宜、見直し

（3）社会福祉法人支援

社会福祉法の改正により、社会福祉法人の公益性、組織管理・財務規律の強化などの見直しが進められていますが、本会会員である社会福祉法人・施設の取組みを引き続き支援します。また、本会専門機関部会が立ち上げた「泉サポートプロジェクト」の取組みを支援します。

（4）たすけあい福祉資金給付（火災等の罹災者への見舞金）

（5）行路病人への支援（行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金の支給）

(6) 関係機関の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

- ①神奈川県共同募金会泉区支会
- ②日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会
- ③泉保護司会
- ④泉区更生保護女性会
- ⑤泉区更生保護協会
- ⑥泉区遺族会